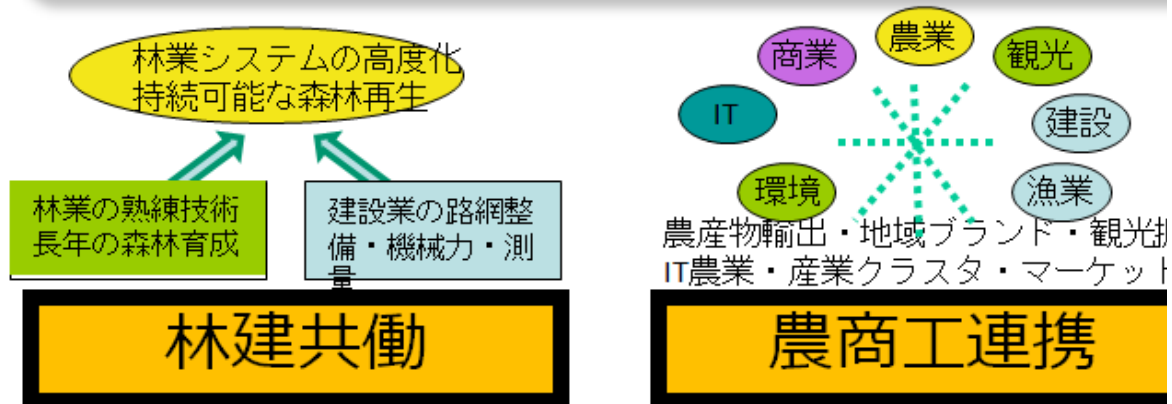


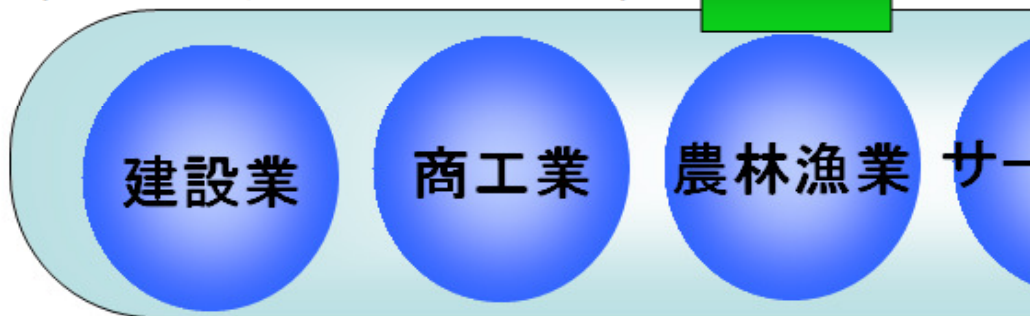
業種を越えた「複業化」



複数業種の共働による林業改革

複数業種の連携で農林漁業イノベーション

業種の壁を越えた地方産業創出



<現状の問題点> 公共事業の減少、農林漁業の高齢化・低迷
中小企業・商店街の疲弊、人口減・高齢化

○業種毎のタテ割り支援

- ・各府省で、所管業種ごとに、成長戦略、金融措置、自治体補助などを制度化。
- ・商工系と農林系のタテ割り公的金融

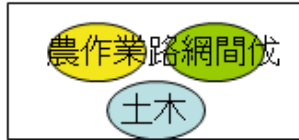
○業種毎の業行政・規制

- ・異業種参入の妨げとなる各種規制
- ・「専業」を基本にした業行政、過剰申請書類
- ・農漁業への企業参入の障壁(農地法、漁業権等)
- ・農業のビジネス展開への制限(農業生産法人等)

○いわゆる「業界構造」

地方の
3年の

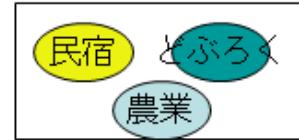
「複業化」で地方産業創出



農山村を支える複業会社



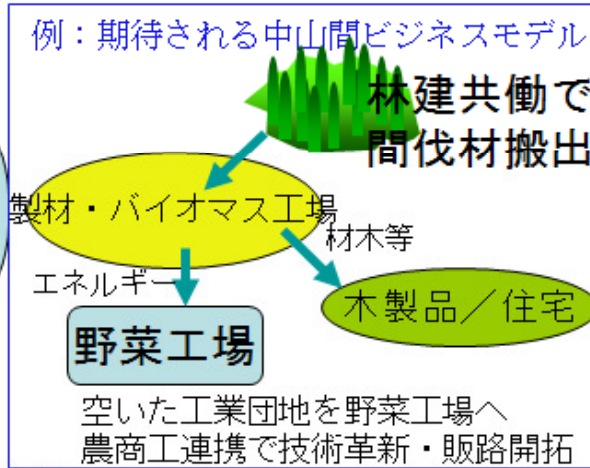
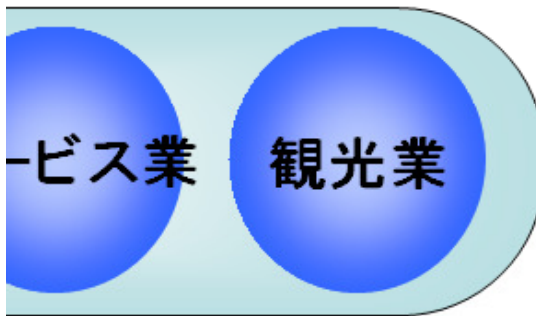
高齢者を支える複業会社



個人の「兼業」から
企業の「複業」
生産性向上、通年雇用の実現

複業会社

地方市場の小さな地方では、複数の本業をもつ「複業会社」により地域企業の自立を図る



地方「複業化」推進 省庁横断組織

農業問題は農業者だけで解決できず
建設問題も建設業者だけで解決できない。
地域の立場から両方を共に検討して、初めて答えが見えてくる。



公共事業と補助金の減少→
地方経済の自立に「複業」を

活性化のため、省庁横断の強力な検討・実施体制を政府に設け、
短期間に複業化支援・支障の除去措置を断行、4年間のフォロー